

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ 45 号

2019年7月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード





『2.43』

壁井 ユカコ 作 集英社 2013年

ぬるい日々を送っていた中学2年生の3学期、弱小バレーボール部員である黒羽祐仁の前に現れたのは、幼稚園の時に別れた友達・灰島公誓。言葉は足りないが才能はある灰島に引っ張られ、黒羽たちはバレーの楽しさを少しずつ感じていく。しかし、灰島だけの力で勝利した県大会の第2試合、お互いを気遣えなかった二人は取り返しがつかないほどすれ違い・・・。

「まだ、灰島とバレーがしたい。」後悔とともに入学した清陰高校で、二人の青春が不器用に動き出す。



『雲は湧き、光あふれて』 1～3巻

須賀 しのぶ 作 集英社オレンジ文庫 2015～2017年

最後の甲子園を前に、不動の四番・益岡が故障した。補欠の須藤は、代打で復帰した益岡の専用ピンチランナーとしてベンチ入りすることになる。たった一打席のために選手枠を潰すことへの葛藤や、益岡へのわだかまりを抱えたまま、猛特訓がはじまった。そしてついに夏季県大会の日を迎えて・・・。(『ピンチランナー』より)

甲子園に行きたい。どうしても勝ちたい。どこまでも青い空の下、一度きりの夏に懸ける野球少年たちを描いた小説集。



『スマイリング!』

土橋 章宏 作 中央公論新社 2016年

お金のない家庭に育つ中学生・関口俊太は、ロードバイクで競い合う仲間たちにママチャリで食らいつく日々を送っていた。そんなある日、チェーンが切れてしまったのをきっかけに、自転車屋の店主・岩熊との交流が始まる。厳しくも優しい彼は、自転車の知識、ママチャリを改造したロードバイク、そして新しい目標を与えてくれた。

レースに勝ちたい気持ちと、岩熊の「俺とお前の夢だ」という言葉。熱い思いを背負って、俊太はツール・ド・函館に挑む。



『キケン』

有川 浩 作 角川文庫 2016年

成南電気工科大学の機械制御研究部、略称「機研(キケン)」は、学内一の快適空間を売りにしている。しかし、実態は爆弾魔・上野と大神が率いる、決して敵にはしてはならない「危険(キケン)」なクラブだった。そんなクラブに勧誘されてしまった新入生の元山は、上野の圧力に負け、入部することに。

クラブ説明会で爆破実験。PC研と模擬ラーメン店バトル。危険ばかりの機研による、黄金伝説が始まる!



『麦の海に沈む果実』

恩田 陸 作 講談社 2000年

2月の最後の日に理瀬が転入したのは、湿原に囲まれた全寮制の学園。そこでは、3月以外の転入生は学園を破滅に導くといわれていた。プライベートは詮索しないルールの下、素性がわからぬ生徒たちと共に日々を過ごす中で、次々と不可解な事件が起きていく。図書館から消えたいわくつきの本。失踪する生徒たち。過去の記憶をなくした主人公・理瀬の正体とは。

さまざまな「謎」が魅力の学園ミステリー。



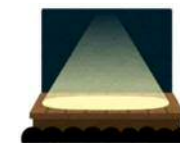
『幕が上がる』

平田 オリザ 作 講談社 2012年

高校生活最後の1年。さおりたち弱小演劇部の前に現れたのは、元「学生演劇の女王」の異名を持つ新任の美術教師だった。

「本気でやって、ブロック大会まで行こう。」彼女の一声に導かれ、練習に打ち込む日々が始まる。みんなで勝ちに行くと決めたから、演出の難しさや、役になりきれない悔しさも、部員一丸となって乗り越えていく。

受験よりも恋愛よりも、死ぬほど稽古がしたい。熱い思いがひとつになって、今、青春の幕が上がる。



ほんの
ひととき

Enjoy 青春

Enjoy

今回は、あなたの青春をもっと楽しくしてくれる、3冊の本を
しょうかい
紹介します！さあ、青春を楽しもう♪



『大合格』

なかた あつひこ
中田 敦彦 作 KADOKAWA 2017年



知性派タレントとして活躍中のお笑い芸人・中田敦彦が、進路や恋愛などの悩みにアドバイスしてくれる、まさに人生の参考書。誰もが苦しむ難題を数多く収録しています。

この本を開いて、あなたが抱えている問題の解き方を見つけてみませんか？



『大丈夫！キミならできる！』

まつおか しゅうぞう かわで しょうしんしゃ
松岡 修造 作 河出書房新社 2012年



元プロテニスプレイヤーで熱血男の松岡修造。この本は中学生・高校生に向けて送る、彼の熱血応援メッセージ集です。単なる根性論ではなく、自分自身に対する真剣な向き合い方を教えてくれます。

目標に向かう勇気と元気をもらえること間違いなし！



『17歳。』

おぐら ちかこ
小倉 千加子 作 PHP エディターズ・グループ 2004年



高校2年生のリアルな悩みに、心理学者である著者が解決策を説いていきます。その解決策はとても現実的で、中には酷に感じるものもあるかもしれません。しかし、深刻で複雑な悩みに対して、決してきれいごとで終わらせず、真摯に向き合ったものです。

心から学校生活を楽しまたい人におすすめの一冊。



次回
予告

はぴ46号(10月発行)のテーマは



このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円(概算)です。